



2023.2月 愛篤ニュース



発行所:社会福祉法人愛篤福祉会

住所:〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根 65-187

工房阿列布

電話:0246-36-3944 FAX:0246-36-3922 メール:k.olive@aitokufukushikai.jp

KAKA's FACTORY

電話:0123-85-2246 FAX:0123-85-2046 メール:kakas_01@aitokufukushikai.jp

グループホーム静修苑

電話:0246-36-3611 FAX:0246-36-3677 メール:seisyuen@aitokufukushikai.jp

迫られる改革

理事長 遠藤 節子

▼先日、知り合いの方が亡くなった。天真爛漫に育ったかのような障害の方だった。年齢四九歳、肺炎だったが肉体系年齢は八十才と言われたとのこと、健康者と障害者の肉体の衰えはたとえ様も無く顕著だ。重度障害者、高齢の障害者ほどのような老後が待っているのか、どのような処遇を受けて亡くなったのか。「家族の対応を思うと辛いものがあります。」

▼約半世紀、親はなぜ親亡き後の施設建設を切望したのか。そこには「国民の福祉の充実」という名のもと法の解釈の影響の強さを思わないではいられない。

▼社会福祉も大きな「たが」を外しても出来ないものか。働く人の環境整備、賃金アップ、業務のスリム化、等々、国連は日本の障害者処遇に関して早期に地域生活が営めるようにさらなる見直しを求めた結果、国は脱施設を目指すため2026年までに更に5%以上の目標達成を自治体に設定。併せて精神科病院の無期限の入院の禁止なども打ち出しています。

▼今社会は、様々な概念が空中分解し、価値観の見直しが求められている感があります。

日本の社会福祉は国連の指摘を待つまでもなくハード、ソフトにおいて大きく改革を迫られそうです。

「福祉事業所の倒産」

法人事務局 草野 晋

電気、ガスをはじめ食料品、宅配便など多種多様な物やサービス料が値上げされています。ロシアによるウクライナ侵攻の余波を受けての農産物や原油価格の高騰と、世界情勢の不安定さからくる円安もあり、資源を輸入に頼っている日本にはダブルパンチになっています。福祉事業所でも影響は大きく、経費の増大は経営を圧迫しています。

さて、先日新聞に「介護事業所の倒産が過去最大」との記事が載っていました。

コロナ禍での利用控えに加え、利用料の負担増を理由にした退所が主な理由だそうです。事業所も利用者が減れば収入が減り、立ちいかなくなるのは必然です。ただ、事業所を利用しなくなった方はどこへ行くのでしょうか。楽しみを失い一日中家に籠る生活になるのでしょうか。

お年寄りや障がいを持つ方にとって楽しみの一つでもあり、日課になっていた事業所に通うということが無くなってしまふのは、社会との隔絶や症状の悪化に繋がります。コロナ禍やウクライナ紛争が早く収束し、一日も早く平和な日常が戻ってくることを望みます。



震災の教訓

「3.11 東日本大震災」から間もなく12年が経とうとしています。多くの方の人生や見慣れた風景をも変えてしまうほどの大惨事でしたが、時の流れの中で、遠い記憶となっていることが増えてきたと感じることも多くなってきました。先月にはトルコ、シリアの大地震で何万人の方が亡くなりましたが、「災害はいつやってくるかわからないのだな」と改めて感じました。3月11日は亡くなられた方の冥福を祈るとともに震災から学んだ教訓は何だったのかを振り返ってみたいと思います。

新年度に向けて

これから春先にかけて、コロナ対応の為に制限していた部分のいくつかの緩和や解除を少しずつ事業所でも検討しております。こういった点の改訂かについては、近日中に書面にてお知らせする予定です。コロナ禍の中でできなくなっていた行事や、日中活動なども少しずつ再開していけるようにしたいと思いますのでご協力よろしくお願いたします

インフルエンザ感染拡大中

コロナウイルスの対策の成果もあり、インフルエンザの感染者は事業所職員・利用者ともに現時点ではありませんが、世間ではかなりの拡大を見せております。以前より事業所のインフルエンザへの対応として、**発症した場合は症状が出てから5日間**、または**解熱してから2日間**のお休みをお願いしております。ウイルスは2日間程潜伏すると言われておりますので、**同居家族が感染した際も基本的には同じよう**にお願い致します。

<寄付・物品寄贈の皆様>

渡辺和子 様、根本フク子 様、ホクレン農業協同組合連合会 様、山本輝人 様、小野慶子 様 (順不同)

さくらしんぶん

りょうしゃ かい
利用者の会



まいつきまつじつはっこう 2023年 2月号
発行所 さくら会(利用者自治会)
〒973-8407



いわき市内郷宮町峰根65-187 工房阿列布内
発行責任者 さくら会 会長 村上博康
サポート職員 佐藤裕子

おい
美味しくてにこにこ♪

がつ にち ど かい ちゃがい こんがい
2月25日(土)にさくら会でお茶会をしました！今回のデザートはかわいい
さくらのドーナツでした！モチモチしていてとっても美味しかったです♪



がつたんじょうしゃ
2月誕生者



がつ たんじょうしゃ
2月の誕生者は、
ひらさわけいこ 星栄治さん・あだちたけし 安達武史さん
おおわだあや やしろけんじ ひるたあゆむ 蛭田歩夢さん
の6名です！おめでとうございます！

たのしみメニュー



- ・ビーフシチュー
- ・コーンピラフ
- ・クリームコロッケ
- ・大根サラダ
- ・ミルクプリン



こんげつ かじ
今月は火事になった時の
避難訓練をしました！
みんな素早く避難できました！

まつぶん まめ
節分の豆まきをしました！
おに そと 福は内ー！



たよ
カカズ便り



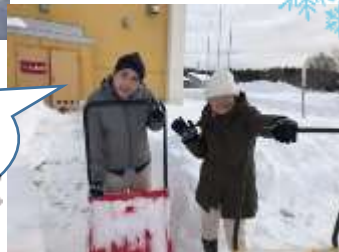
まつぶん
節分メニュー



ゆき たくさんつ
雪が沢山積もったよ！



ゆき かんぱ
雪かき頑張る！



※みなさまの しゃしんは、ほんにんの りょうかいを いただいて つかっています